

追跡 レポート [第10回]

あの質問はどうなった？

これまでの質疑の中から一部を取り上げ、その後の経過を追跡してみました。

高橋 綾夫

平成25年3月議会

質問 湯沢町観光振興計画を官民一体で遂行せよとの要求に対し、湯沢町観光協会を中心とした、官民合同の推進委員会の立ち上げを検討したいと答弁。

結果 湯沢町観光協会の常設3委員会の正副委員長からなる「連携推進委員会」を新たに組織し、官民合同で観光振興計画の具現化に向けた事業に取り組んでいる。

平成25年12月議会

質問 各種委員会や審議会の見直しと強化を図れとの要求に対し、委員会が十分機能しているか再度検討し、必要があれば直していききたいと答弁。

結果 これから調査し、判断します。

平成26年3月議会

質問 ソーシャルネットワークサービス活用をもっと積極的に行政全体で行うべきとの要求に、現職員体制でどうできるか研究していくと答弁。

結果 試験的な運用を続けてきたが、今後は、積極的な活用をするため町の運用方針を定め、対応していききたいと考えている。

角谷 勉

平成25年12月議会

質問 「開花八策」の事業工程の公表はいつかとの質問に、具体的な施策と事業工程は企画政策室で進めていくと答弁。

結果 すでに作成してありますが、細部の調整をしているところですので、近々お知らせできると考えている。

平成26年3月議会

質問 町づくりを定めた「湯沢町総合計画」の周知を図れとの質問に、周知度を上げるために町民の目につく機会を増やすと答弁。

結果 従来から町のホームページに掲載しているほか、公民館の図書室に総合計画書を見られるコーナーを設置した。

平成26年3月議会

質問 「童画のまち・ゆざわ」をコンセプトにした街づくりを推進すべきとの要求に対し、町全体で「童画のまち・ゆざわ」を推進し、童画館の建設は場所も含め全体的な構想のなかで検討すると答弁。

結果 雪国館の増改築も含めるなかで検討中である。

岸野 雅人

平成23年12月議会

質問 湯沢高原スキー場に関して数名からなる監理監督のための委員会あるいは勉強会を立ち上げるべきではないか。布場スキー場ロマンスリフトの高原への移設時期はもう1年先に延ばし、合意形成への努力をすべきと考えるがいかがか。

結果 平成24年より「湯沢高原ロープウェイ運営委員会」発足。布場スキー場はあと2シーズン営業する（1年先送り）。そしてその後のことを検討する。

平成24年3月議会

質問 湯沢町封筒のキャッチは文化的にも商業的にも国内外に名が通る小説「雪國」に関するものが望ましい。

結果 小説「雪國」の冒頭部分と写真が掲載される。

平成25年6月議会

質問 『北越雪譜』の名文を選択し、小・中学生に朗読や暗唱を取り組んでいかか。また、教育課程にどう位置づけられ、具体的な授業内容はどうか。

結果 平成26年4月より『学習資料 大好き湯沢』に『雪國』と『北越雪譜』が掲載。